

令03原機(サ保)016
令和3年4月19日

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄 (公印省略)

核燃料物質使用変更届

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第55条第2項の規定に基づき、下記のとおり核燃料物質の使用の許可に係る変更を届け出ます。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
名 称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住 所：茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
代表者の氏名：理事長 児玉 敏雄
事業所の名称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
事業所の住所：茨城県那珂郡東海村大字村松4番地33
2. 変更内容
核燃料物質の予定使用期間について、「自 2021年4月1日～至 2024年3月31日」に変更する。
詳細は、別添に示す。
3. 変更理由
核燃料物質の使用を継続するため

以 上

別添

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
核燃料物質使用変更届 新旧対照表

令和3年4月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

変更前			変更後			変更理由																																																																																														
<p>【核燃料サイクル工学研究所共通編】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量 核燃料サイクル工学研究所全体における予定使用期間及び年間予定使用量を表5-1に示す。</p> <p>表5-1 核燃料サイクル工学研究所全体における予定使用期間及び年間予定使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">核燃料物質の種類</th> <th>予定使用期間</th> <th>年間予定使用量 (最大存在量)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物</td> <td>自 2017年10月6日 至 2021年3月31日</td> <td>25 000 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">天然ウラン及びその化合物</td> <td>自 2020年2月26日 至 2021年3月31日</td> <td>30 102.9 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">劣化ウラン及びその化合物</td> <td>自 2020年2月26日 至 2021年3月31日</td> <td>61 617.6 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トリウム及びその化合物</td> <td>自 2017年4月21日 至 2021年3月31日</td> <td>1.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度 20 %^{注1)} 未満</td> <td rowspan="2">自 2020年2月26日 至 2021年3月31日</td> <td>40 975.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td>濃縮度 20 %以上</td> <td>201.6 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ウラン 233 及びその化合物</td> <td rowspan="4">自 2017年4月21日 至 2021年3月31日</td> <td>0.02 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ウラン及びその化合物</td> <td>0.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">廃棄物中のウラン及びその化合物</td> <td>23 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">プルトニウム及びその化合物</td> <td>9 952.2 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">廃棄物中のプルトニウム及びその化合物</td> <td></td> <td>0.36 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体</td> <td></td> <td>3.7×10¹⁶ Bq</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 以下、本共通編において、%は質量分率を示す。</p>			核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)	天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物		自 2017年10月6日 至 2021年3月31日	25 000 (kg)	天然ウラン及びその化合物		自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	30 102.9 (kg)	劣化ウラン及びその化合物		自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	61 617.6 (kg)	トリウム及びその化合物		自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	1.1 (kg)	濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度 20 % ^{注1)} 未満	自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	40 975.1 (kg)	濃縮度 20 %以上	201.6 (kg)	ウラン 233 及びその化合物		自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	0.02 (kg)	ウラン及びその化合物		0.1 (kg)	廃棄物中のウラン及びその化合物		23 (kg)	プルトニウム及びその化合物		9 952.2 (kg)	廃棄物中のプルトニウム及びその化合物			0.36 (kg)	高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq	<p>【核燃料サイクル工学研究所共通編】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量 核燃料サイクル工学研究所全体における予定使用期間及び年間予定使用量を表5-1に示す。</p> <p>表5-1 核燃料サイクル工学研究所全体における予定使用期間及び年間予定使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">核燃料物質の種類</th> <th>予定使用期間</th> <th>年間予定使用量 (最大存在量)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物</td> <td rowspan="4">自 2021年4月1日 至 2024年3月31日</td> <td>25 000 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">天然ウラン及びその化合物</td> <td>30 102.9 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">劣化ウラン及びその化合物</td> <td>61 617.6 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トリウム及びその化合物</td> <td>1.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度 20 %^{注1)} 未満</td> <td rowspan="2">自 2021年4月1日 至 2024年3月31日</td> <td>40 975.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td>濃縮度 20 %以上</td> <td>201.6 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ウラン 233 及びその化合物</td> <td></td> <td>0.02 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ウラン及びその化合物</td> <td></td> <td>0.1 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">廃棄物中のウラン及びその化合物</td> <td></td> <td>23 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">プルトニウム及びその化合物</td> <td></td> <td>9 952.2 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">廃棄物中のプルトニウム及びその化合物</td> <td></td> <td>0.36 (kg)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体</td> <td></td> <td>3.7×10¹⁶ Bq</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 以下、本共通編において、%は質量分率を示す。</p>			核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)	天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物		自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	25 000 (kg)	天然ウラン及びその化合物		30 102.9 (kg)	劣化ウラン及びその化合物		61 617.6 (kg)	トリウム及びその化合物		1.1 (kg)	濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度 20 % ^{注1)} 未満	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	40 975.1 (kg)	濃縮度 20 %以上	201.6 (kg)	ウラン 233 及びその化合物			0.02 (kg)	ウラン及びその化合物			0.1 (kg)	廃棄物中のウラン及びその化合物			23 (kg)	プルトニウム及びその化合物			9 952.2 (kg)	廃棄物中のプルトニウム及びその化合物			0.36 (kg)	高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq	<p>・核燃料物質の使用を継続するため</p>
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)																																																																																																	
天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物		自 2017年10月6日 至 2021年3月31日	25 000 (kg)																																																																																																	
天然ウラン及びその化合物		自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	30 102.9 (kg)																																																																																																	
劣化ウラン及びその化合物		自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	61 617.6 (kg)																																																																																																	
トリウム及びその化合物		自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	1.1 (kg)																																																																																																	
濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度 20 % ^{注1)} 未満	自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	40 975.1 (kg)																																																																																																	
	濃縮度 20 %以上		201.6 (kg)																																																																																																	
ウラン 233 及びその化合物		自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	0.02 (kg)																																																																																																	
ウラン及びその化合物			0.1 (kg)																																																																																																	
廃棄物中のウラン及びその化合物			23 (kg)																																																																																																	
プルトニウム及びその化合物			9 952.2 (kg)																																																																																																	
廃棄物中のプルトニウム及びその化合物			0.36 (kg)																																																																																																	
高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq																																																																																																	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)																																																																																																	
天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれらの化合物		自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	25 000 (kg)																																																																																																	
天然ウラン及びその化合物			30 102.9 (kg)																																																																																																	
劣化ウラン及びその化合物			61 617.6 (kg)																																																																																																	
トリウム及びその化合物			1.1 (kg)																																																																																																	
濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度 20 % ^{注1)} 未満	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	40 975.1 (kg)																																																																																																	
	濃縮度 20 %以上		201.6 (kg)																																																																																																	
ウラン 233 及びその化合物			0.02 (kg)																																																																																																	
ウラン及びその化合物			0.1 (kg)																																																																																																	
廃棄物中のウラン及びその化合物			23 (kg)																																																																																																	
プルトニウム及びその化合物			9 952.2 (kg)																																																																																																	
廃棄物中のプルトニウム及びその化合物			0.36 (kg)																																																																																																	
高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq																																																																																																	

変 更 前					変 更 後					変更理由
【プルトニウム燃料第一開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第一開発室)					【プルトニウム燃料第一開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第一開発室)					・核燃料物質の使用を継続するため
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及びその化合物		自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	21 000 kg (U量)	7 640 kg (U量)	天然ウラン及びその化合物		自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	21 000 kg (U量)	7 640 kg (U量)	
劣化ウラン及びその化合物		自 2018年7月10日 至 2021年3月31日	21 000 kg (U量)	9 000 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物			21 000 kg (U量)	9 000 kg (U量)	
トリウム及びその化合物		自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	100 g (Th量)	100 g (Th量)	トリウム及びその化合物			100 g (Th量)	100 g (Th量)	
濃縮ウラン及びその化合物 <small>注1)</small>	濃縮度 5 %未満	自 2018年7月10日 至 2021年3月31日	14 500 kg (U量) 725 kg (²³⁵ U量)	7 640 kg (U量) 382 kg (²³⁵ U量)	濃縮ウラン及びその化合物 <small>注1)</small>	濃縮度 5 %未満	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	14 500 kg (U量) 725 kg (²³⁵ U量)	7 640 kg (U量) 382 kg (²³⁵ U量)	
	濃縮度 5 %以上 20 %未満	自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	1 800 kg (U量) 360 kg (²³⁵ U量)	1 800 kg (U量) 360 kg (²³⁵ U量)		濃縮度 5 %以上 20 %未満		1 800 kg (U量) 360 kg (²³⁵ U量)	1 800 kg (U量) 360 kg (²³⁵ U量)	
	濃縮度 ^{注2)} 20 %以上		100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)	100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)		濃縮度 ^{注2)} 20 %以上		100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)	100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)	
プルトニウム及びその化合物		自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	非密封 1 950 kg (Pu量)	非密封 300 kg (Pu量)	プルトニウム及びその化合物			非密封 1 950 kg (Pu量)	非密封 300 kg (Pu量)	
ウラン 233 及びその化合物				3 g (U量)	3 g (U量)	ウラン 233 及びその化合物			3 g (U量)	3 g (U量)
注1) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。 注2) 弥生において未照射の酸化ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)、最大 MWd/t 燃焼後、6年以上冷却された使用済金属ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)及び未照射の金属ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)を含む。					注1) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。 注2) 弥生において未照射の酸化ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)、最大 MWd/t 燃焼後、6年以上冷却された使用済金属ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)及び未照射の金属ウラン(濃縮度: %未満、重量: kgU未満)を含む。					

で囲った箇所は核物質防護情報が含まれるため、非公開とします。

変更前				変更後				変更理由	
【プルトニウム燃料第二開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第二開発室)				【プルトニウム燃料第二開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第二開発室)				・核燃料物質の使用を継続するため	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		予定使用期間		年間予定使用量
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量	延べ取扱量
天然ウラン及びその化合物		自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	5 000 kg (U量)	5 000 kg (U量)	天然ウラン及びその化合物		自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	5 000 kg (U量)	5 000 kg (U量)
劣化ウラン及びその化合物			8 200 kg (U量)	8 200 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物			8 200 kg (U量)	8 200 kg (U量)
濃縮ウラン及びその化合物 ^{注)}	濃縮度 5 %未満		17 900 kg (U量) 895 kg (²³⁵ U量)	17 900 kg (U量) 895 kg (²³⁵ U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^{注)}	濃縮度 5 %未満		17 900 kg (U量) 895 kg (²³⁵ U量)	17 900 kg (U量) 895 kg (²³⁵ U量)
	濃縮度 5 %以上 20 %未満		1 210 kg (U量) 242 kg (²³⁵ U量)	1 210 kg (U量) 242 kg (²³⁵ U量)		濃縮度 5 %以上 20 %未満		1 210 kg (U量) 242 kg (²³⁵ U量)	1 210 kg (U量) 242 kg (²³⁵ U量)
	濃縮度 20 %以上		100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)	100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)		濃縮度 20 %以上		100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)	100 kg (U量) 100 kg (²³⁵ U量)
プルトニウム及びその化合物			非密封 400 kg (Pu量)	非密封 400 kg (Pu量)	プルトニウム及びその化合物			非密封 400 kg (Pu量)	非密封 400 kg (Pu量)
ウラン 233 及びその化合物			3 g (U量)	3 g (U量)	ウラン 233 及びその化合物			3 g (U量)	3 g (U量)

注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。

注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。

変更前				変更後				変更理由
【プルトニウム燃料第三開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第三開発室)				【プルトニウム燃料第三開発室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム燃料第三開発室)				・核燃料物質の使用を継続するため
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		年間予定使用量			
			最大存在量	延べ取扱量	最大存在量	延べ取扱量		
天然ウラン及びその化合物		自 2019年1月16日 至 2021年3月31日	1 500 kg (U量)	60 kg (U量)	1 500 kg (U量)	60 kg (U量)		
劣化ウラン及びその化合物 ^{注)}			20 000 kg (U量)	1 100 kg (U量)	20 000 kg (U量)	1 100 kg (U量)		
濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度 20 %未満 ^{注)}	自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	4 800 kg (U量) 960 kg (²³⁵ U量)	1 100kg (U量) 220 kg (²³⁵ U量)	4 800 kg (U量) 960 kg (²³⁵ U量)	1 100 kg (U量) 220 kg (²³⁵ U量)		
	濃縮度 20 %以上		10 g (U量) 10 g (²³⁵ U量)	10 g (U量) 10 g (²³⁵ U量)	10 g (U量) 10 g (²³⁵ U量)	10 g (U量) 10 g (²³⁵ U量)		
プルトニウム及びその化合物		自 2019年1月16日 至 2021年3月31日	7 600 kg (Pu量) このうち非密封 600 kg (Pu量)	非密封 370 kg (Pu量)	7 600 kg (Pu量) このうち非密封 600 kg (Pu量)	非密封 370 kg (Pu量)		
ウラン 233 及びその化合物		自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	5 g (U量)	5 g (U量)	5 g (U量)	5 g (U量)		
注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。				注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。				

変 更 前				変 更 後				変更理由
【プルトニウム廃棄物処理開発施設】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム廃棄物処理開発施設)				【プルトニウム廃棄物処理開発施設】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (プルトニウム廃棄物処理開発施設)				・核燃料物質の使用を継続するため
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	
プルトニウム及びその化合物		非密封 5 g (Pu量)	非密封 5 g (Pu量)	プルトニウム及びその化合物		非密封 5 g (Pu量)	非密封 5 g (Pu量)	
		密封 135 g (Pu量)	密封 135 g (Pu量)			密封 135 g (Pu量)	密封 135 g (Pu量)	
廃棄物中のプルトニウム及びその化合物		355 g (Pu量)	4 700 g (Pu量)	廃棄物中のプルトニウム及びその化合物		355 g (Pu量)	4 700 g (Pu量)	
廃棄物中のウラン及びその化合物	23 kg (U量)	300 kg (U量)	廃棄物中のウラン及びその化合物	23 kg (U量)	300 kg (U量)			

変 更 前				変 更 後				変更理由
【A棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (A棟)				【A棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (A棟)				・核燃料物質の使用を継続するため
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	

変 更 前	変 更 後	変更理由																																						
<p>【B棟】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(B棟)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u></td> <td style="text-align: center;">100 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 %^{*1}未満</td> <td style="text-align: center;">50 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">10 g (Pu量)</td> <td style="text-align: center;">0.8 g (Pu量)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: %は質量分率を示す。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	10 g (U量)	劣化ウラン及びその化合物	10 g (U量)	10 g (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 % ^{*1} 未満	50 g (U量)	10 g (U量)	プルトニウム及びその化合物	10 g (Pu量)	0.8 g (Pu量)	<p>【B棟】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(B棟)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u></td> <td style="text-align: center;">100 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 %^{*1}未満</td> <td style="text-align: center;">50 g (U量)</td> <td style="text-align: center;">10 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">10 g (Pu量)</td> <td style="text-align: center;">0.8 g (Pu量)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: %は質量分率を示す。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	10 g (U量)	劣化ウラン及びその化合物	10 g (U量)	10 g (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 % ^{*1} 未満	50 g (U量)	10 g (U量)	プルトニウム及びその化合物	10 g (Pu量)	0.8 g (Pu量)	<p>・核燃料物質の使用を継続するため</p>
核燃料物質の種類			予定使用期間	年間予定使用量																																				
	最大存在量	延べ取扱量																																						
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	10 g (U量)																																					
劣化ウラン及びその化合物		10 g (U量)	10 g (U量)																																					
濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 % ^{*1} 未満		50 g (U量)	10 g (U量)																																					
プルトニウム及びその化合物		10 g (Pu量)	0.8 g (Pu量)																																					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																						
		最大存在量	延べ取扱量																																					
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	10 g (U量)																																					
劣化ウラン及びその化合物		10 g (U量)	10 g (U量)																																					
濃縮ウラン及びその化合物 濃縮度 20 % ^{*1} 未満		50 g (U量)	10 g (U量)																																					
プルトニウム及びその化合物		10 g (Pu量)	0.8 g (Pu量)																																					

変 更 前				変 更 後				変更理由																															
【J棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (J棟)				【J棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (J棟)				・核燃料物質の使用を継続するため																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="3">自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u></td> <td>1 400 kg (U量)</td> <td>1 400 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>40 kg (U量)</td> <td>40 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)</td> <td>1 kg (U量)</td> <td>1 kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	1 400 kg (U量)	1 400 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	40 kg (U量)	40 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)	1 kg (U量)	1 kg (U量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="3">自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u></td> <td>1 400 kg (U量)</td> <td>1 400 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>40 kg (U量)</td> <td>40 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)</td> <td>1 kg (U量)</td> <td>1 kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	1 400 kg (U量)	1 400 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	40 kg (U量)	40 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)	1 kg (U量)
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																					
		最大存在量	延べ取扱量																																				
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	1 400 kg (U量)	1 400 kg (U量)																																				
劣化ウラン及びその化合物		40 kg (U量)	40 kg (U量)																																				
濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)		1 kg (U量)	1 kg (U量)																																				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																					
		最大存在量	延べ取扱量																																				
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	1 400 kg (U量)	1 400 kg (U量)																																				
劣化ウラン及びその化合物		40 kg (U量)	40 kg (U量)																																				
濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度5%未満)		1 kg (U量)	1 kg (U量)																																				

変 更 前		変 更 後				変更理由																																								
【L棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (L棟)		【L棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (L棟)				・核燃料物質の使用を継続するため																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間※</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="5">自 2020年2月26日 至 2021年3月31日</td> <td>32.5 kg (U量)</td> <td>32.5 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>11 400 kg (U量)</td> <td>11 400 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度0.9%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間※	年間予定使用量		最大存在量		延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	32.5 kg (U量)	32.5 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	11 400 kg (U量)	11 400 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="5">自 2021年4月1日 至 2024年3月31日</td> <td>32.5 kg (U量)</td> <td>32.5 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>11 400 kg (U量)</td> <td>11 400 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度0.9%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)</td> <td>3 kg (U量)</td> <td>3 kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	32.5 kg (U量)	32.5 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	11 400 kg (U量)	11 400 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)	3 kg (U量)	3 kg (U量)
核燃料物質の種類			予定使用期間※	年間予定使用量																																										
	最大存在量	延べ取扱量																																												
天然ウラン及びその化合物	自 2020年2月26日 至 2021年3月31日	32.5 kg (U量)	32.5 kg (U量)																																											
劣化ウラン及びその化合物		11 400 kg (U量)	11 400 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																												
		最大存在量	延べ取扱量																																											
天然ウラン及びその化合物	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	32.5 kg (U量)	32.5 kg (U量)																																											
劣化ウラン及びその化合物		11 400 kg (U量)	11 400 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度0.9%以上1.5%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注) (濃縮度1.5%以上3.0%未満)		3 kg (U量)	3 kg (U量)																																											
注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウラン及び同ウランを再濃縮して得られたウランを含む。		注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウラン及び同ウランを再濃縮して得られたウランを含む。																																												

変更前		変更後		変更理由																																																																
<p>【東海事業所第2ウラン貯蔵庫】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(東海事業所第2ウラン貯蔵庫)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">天然ウラン及びその化合物</td> <td>六ふっ化ウラン</td> <td rowspan="6">自 2017年4月21日 至 2021年3月31日</td> <td>100 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>六ふっ化ウランを除く化合物</td> <td>550 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">劣化ウラン及びその化合物</td> <td>六ふっ化ウラン^(注)</td> <td>550 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>六ふっ化ウランを除く化合物</td> <td>30 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">濃縮ウラン及びその化合物^(注)</td> <td>濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>300 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>400 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>40 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。</p>		核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン	自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	100 kg (U量)	—	六ふっ化ウランを除く化合物	550 kg (U量)	—	劣化ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン ^(注)	550 kg (U量)	—	六ふっ化ウランを除く化合物	30 kg (U量)	—	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注)	濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン	300 kg (U量)	—	濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン	400 kg (U量)	—	濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン	40 kg (U量)	—	<p>【東海事業所第2ウラン貯蔵庫】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(東海事業所第2ウラン貯蔵庫)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">天然ウラン及びその化合物</td> <td>六ふっ化ウラン</td> <td rowspan="6">自 2021年4月1日 至 2024年3月31日</td> <td>100 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>六ふっ化ウランを除く化合物</td> <td>550 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">劣化ウラン及びその化合物</td> <td>六ふっ化ウラン^(注)</td> <td>550 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>六ふっ化ウランを除く化合物</td> <td>30 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">濃縮ウラン及びその化合物^(注)</td> <td>濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>300 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>400 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン</td> <td>40 kg (U量)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 使用済燃料を化学的方法により処理して得られたウランを含む。</p>		核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	100 kg (U量)	—	六ふっ化ウランを除く化合物	550 kg (U量)	—	劣化ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン ^(注)	550 kg (U量)	—	六ふっ化ウランを除く化合物	30 kg (U量)	—	濃縮ウラン及びその化合物 ^(注)	濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン	300 kg (U量)	—	濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン	400 kg (U量)	—	濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン	40 kg (U量)	—	<p>・核燃料物質の使用を継続するため</p>
核燃料物質の種類					予定使用期間	年間予定使用量																																																														
		最大存在量	延べ取扱量																																																																	
天然ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン	自 2017年4月21日 至 2021年3月31日	100 kg (U量)	—																																																																
	六ふっ化ウランを除く化合物		550 kg (U量)	—																																																																
劣化ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン ^(注)		550 kg (U量)	—																																																																
	六ふっ化ウランを除く化合物		30 kg (U量)	—																																																																
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注)	濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン		300 kg (U量)	—																																																																
	濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン		400 kg (U量)	—																																																																
	濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン	40 kg (U量)	—																																																																	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量																																																																	
			最大存在量	延べ取扱量																																																																
天然ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	100 kg (U量)	—																																																																
	六ふっ化ウランを除く化合物		550 kg (U量)	—																																																																
劣化ウラン及びその化合物	六ふっ化ウラン ^(注)		550 kg (U量)	—																																																																
	六ふっ化ウランを除く化合物		30 kg (U量)	—																																																																
濃縮ウラン及びその化合物 ^(注)	濃縮度0.9%未満の六ふっ化ウラン		300 kg (U量)	—																																																																
	濃縮度0.9%以上1.2%未満の六ふっ化ウラン		400 kg (U量)	—																																																																
	濃縮度1.2%以上3%未満の六ふっ化ウラン	40 kg (U量)	—																																																																	

変 更 前				変 更 後				変更理由	
【高レベル放射性物質研究施設】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (高レベル放射性物質研究施設)				【高レベル放射性物質研究施設】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (高レベル放射性物質研究施設)				・核燃料物質の使用を継続するため	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		予定使用期間		年間予定使用量
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量	延べ取扱量
天然ウラン及びその化合物 ^{*1}		自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	20 kg (U量)	20 kg (U量)	天然ウラン及びその化合物 ^{*1}		自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	20 kg (U量)	20 kg (U量)
劣化ウラン及びその化合物 ^{*1}			35 kg (U量)	35 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物 ^{*1}			35 kg (U量)	35 kg (U量)
濃縮ウラン及びその化合物 ^{*1}	濃縮度 20 % ^{*2} 未満		15 kg (U量)	15 kg (U量)	濃縮ウラン及びその化合物 ^{*1}	濃縮度 20 % ^{*2} 未満		15 kg (U量)	15 kg (U量)
	濃縮度 20 % ^{*2} 以上		1.5 kg (U量)	1.5 kg (U量)		濃縮度 20 % ^{*2} 以上		1.5 kg (U量)	1.5 kg (U量)
プルトニウム及びその化合物 ^{*1}			1.99 kg (Pu量)	1.99 kg (Pu量)	プルトニウム及びその化合物 ^{*1}			1.99 kg (Pu量)	1.99 kg (Pu量)
ウラン - 233 及びその化合物			5 g (U量)	5 g (U量)	ウラン - 233 及びその化合物			5 g (U量)	5 g (U量)
高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq	1.11×10 ¹⁶ Bq	高レベル放射性廃液及びこれのガラス固化体			3.7×10 ¹⁶ Bq	1.11×10 ¹⁶ Bq
*1：使用済燃料中に含まれる核燃料物質、使用済燃料から回収した核燃料物質及び他施設より受け入れた未照射の核燃料物質を含む。 *2：%は質量分率を示す。				*1：使用済燃料中に含まれる核燃料物質、使用済燃料から回収した核燃料物質及び他施設より受け入れた未照射の核燃料物質を含む。 *2：%は質量分率を示す。					

変 更 前				変 更 後				変更理由																															
【応用試験棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (応用試験棟)				【応用試験棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (応用試験棟)				・核燃料物質の使用を継続するため																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="3">自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u></td> <td>500 kg (U量)</td> <td>500 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>362.5 kg (U量)</td> <td>500 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>トリウム及びその化合物</td> <td>1 kg (Th量)</td> <td>1 kg (Th量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	500 kg (U量)	500 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	362.5 kg (U量)	500 kg (U量)	トリウム及びその化合物	1 kg (Th量)	1 kg (Th量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="3">自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u></td> <td>500 kg (U量)</td> <td>500 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td>362.5 kg (U量)</td> <td>500 kg (U量)</td> </tr> <tr> <td>トリウム及びその化合物</td> <td>1 kg (Th量)</td> <td>1 kg (Th量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	500 kg (U量)	500 kg (U量)	劣化ウラン及びその化合物	362.5 kg (U量)	500 kg (U量)	トリウム及びその化合物	1 kg (Th量)
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																					
		最大存在量	延べ取扱量																																				
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	500 kg (U量)	500 kg (U量)																																				
劣化ウラン及びその化合物		362.5 kg (U量)	500 kg (U量)																																				
トリウム及びその化合物		1 kg (Th量)	1 kg (Th量)																																				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																					
		最大存在量	延べ取扱量																																				
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	500 kg (U量)	500 kg (U量)																																				
劣化ウラン及びその化合物		362.5 kg (U量)	500 kg (U量)																																				
トリウム及びその化合物		1 kg (Th量)	1 kg (Th量)																																				

変 更 前	変 更 後	変更理由																																																				
<p>【洗濯場】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(洗濯場)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 mg</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 mg</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">10 mg</td> </tr> <tr> <td>ウラン 233 及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 pg</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1 μg</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	—	100 mg	劣化ウラン及びその化合物	—	100 mg	濃縮ウラン及びその化合物	—	10 mg	ウラン 233 及びその化合物	—	100 pg	プルトニウム及びその化合物	—	1 μg					<p>【洗濯場】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり</p> <p>(洗濯場)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 mg</td> </tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 mg</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">10 mg</td> </tr> <tr> <td>ウラン 233 及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100 pg</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1 μg</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	—	100 mg	劣化ウラン及びその化合物	—	100 mg	濃縮ウラン及びその化合物	—	10 mg	ウラン 233 及びその化合物	—	100 pg	プルトニウム及びその化合物	—	1 μg					<p>・核燃料物質の使用を継続するため</p>
核燃料物質の種類			予定使用期間	年間予定使用量																																																		
	最大存在量	延べ取扱量																																																				
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	—	100 mg																																																			
劣化ウラン及びその化合物		—	100 mg																																																			
濃縮ウラン及びその化合物		—	10 mg																																																			
ウラン 233 及びその化合物		—	100 pg																																																			
プルトニウム及びその化合物		—	1 μg																																																			
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																				
		最大存在量	延べ取扱量																																																			
天然ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	—	100 mg																																																			
劣化ウラン及びその化合物		—	100 mg																																																			
濃縮ウラン及びその化合物		—	10 mg																																																			
ウラン 233 及びその化合物		—	100 pg																																																			
プルトニウム及びその化合物		—	1 μg																																																			

変 更 前				変 更 後				変更理由																									
【安全管理棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (安全管理棟)				【安全管理棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (安全管理棟)				・核燃料物質の使用を継続するため																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="2">自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u></td> <td>100 g (U量)</td> <td>100 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td>32 μg (Pu量)</td> <td>32 μg (Pu量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			最大存在量	延べ取扱量	ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	プルトニウム及びその化合物	32 μg (Pu量)	32 μg (Pu量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="2">自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u></td> <td>100 g (U量)</td> <td>100 g (U量)</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td>32 μg (Pu量)</td> <td>32 μg (Pu量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)	プルトニウム及びその化合物	32 μg (Pu量)
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																															
		最大存在量	延べ取扱量																														
ウラン及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)																														
プルトニウム及びその化合物		32 μg (Pu量)	32 μg (Pu量)																														
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																															
		最大存在量	延べ取扱量																														
ウラン及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	100 g (U量)	100 g (U量)																														
プルトニウム及びその化合物		32 μg (Pu量)	32 μg (Pu量)																														

変 更 前				変 更 後				変更理由																									
【計測機器校正室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (計測機器校正室)				【計測機器校正室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (計測機器校正室)				・核燃料物質の使用を継続するため																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td rowspan="2">自 2015年4月1日 至 2021年3月31日</td> <td>570 mg (Pu量)</td> <td>570 mg (Pu量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)</td> <td>700 mg (U量)</td> <td>700 mg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			最大存在量	延べ取扱量	プルトニウム及びその化合物	自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	570 mg (Pu量)	570 mg (Pu量)	濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)	700 mg (U量)	700 mg (U量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td rowspan="2">自 2021年4月1日 至 2024年3月31日</td> <td>570 mg (Pu量)</td> <td>570 mg (Pu量)</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)</td> <td>700 mg (U量)</td> <td>700 mg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	プルトニウム及びその化合物	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	570 mg (Pu量)	570 mg (Pu量)	濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)	700 mg (U量)
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																															
		最大存在量	延べ取扱量																														
プルトニウム及びその化合物	自 2015年4月1日 至 2021年3月31日	570 mg (Pu量)	570 mg (Pu量)																														
濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)		700 mg (U量)	700 mg (U量)																														
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																															
		最大存在量	延べ取扱量																														
プルトニウム及びその化合物	自 2021年4月1日 至 2024年3月31日	570 mg (Pu量)	570 mg (Pu量)																														
濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度 80 wt%以上)		700 mg (U量)	700 mg (U量)																														

変 更 前				変 更 後				変更理由																											
【放射線保健室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (放射線保健室)				【放射線保健室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (放射線保健室)				・核燃料物質の使用を継続するため																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td>自 <u>2015年4月1日</u></td> <td>600 μg (Pu量)</td> <td>600 μg (Pu量)</td> </tr> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td>至 <u>2021年3月31日</u></td> <td>2 g (U量)</td> <td>2 g (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			最大存在量	延べ取扱量	プルトニウム及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u>	600 μg (Pu量)	600 μg (Pu量)	天然ウラン及びその化合物	至 <u>2021年3月31日</u>	2 g (U量)	2 g (U量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プルトニウム及びその化合物</td> <td>自 <u>2021年4月1日</u></td> <td>600 μg (Pu量)</td> <td>600 μg (Pu量)</td> </tr> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td> <td>至 <u>2024年3月31日</u></td> <td>2 g (U量)</td> <td>2 g (U量)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	プルトニウム及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u>	600 μg (Pu量)	600 μg (Pu量)	天然ウラン及びその化合物	至 <u>2024年3月31日</u>	2 g (U量)
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																	
		最大存在量	延べ取扱量																																
プルトニウム及びその化合物	自 <u>2015年4月1日</u>	600 μg (Pu量)	600 μg (Pu量)																																
天然ウラン及びその化合物	至 <u>2021年3月31日</u>	2 g (U量)	2 g (U量)																																
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																	
		最大存在量	延べ取扱量																																
プルトニウム及びその化合物	自 <u>2021年4月1日</u>	600 μg (Pu量)	600 μg (Pu量)																																
天然ウラン及びその化合物	至 <u>2024年3月31日</u>	2 g (U量)	2 g (U量)																																

変 更 前				変 更 後				変更理由
【第三ウラン貯蔵庫】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (第三ウラン貯蔵庫)				【第三ウラン貯蔵庫】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (核燃料サイクル工学研究所全体) 核燃料サイクル工学研究所共通編のとおり (第三ウラン貯蔵庫)				・核燃料物質の使用を継続するため
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれら化合物	自 <u>2017年10月6日</u> 至 <u>2021年3月31日</u>	25 000 kg (U量)	25 000 kg (U量)	天然ウラン及び劣化ウラン並びにこれら化合物	自 <u>2021年4月1日</u> 至 <u>2024年3月31日</u>	25 000 kg (U量)	25 000 kg (U量)	